『アルプラクラス』『アリッツ』
バリアフリー対応アタッチメント　共通取付説明書

説明書番号 説明書番号 MN−1551
A表改1

■販売店様・加工店様へのお願い。
・本説明書をお読みになる前に同封の『アルプラクラス・アリッツ　取扱い上のご注意とお願い』を必ず先にお読み下さい。

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていただく事」を示しています。

ビスセット一覧

●レール間アタッチメント用ビスセット（SB−3669）

㋑	㋺
アタッチメント取付用	セッティングブロック（SP−45）
タッピン3種トラス Φ4 x 12 数量：2本～4本	数量：2個

●網戸アタッチメント用ビスセット（SB−3670）

㋑
アタッチメント取付用
タッピン3種トラス Φ4 x 12 数量：5本～7本

●シャッターアタッチメント用ビスセット（SB−3671）

㋑	㋺	㋩	㋥	㋭
アタッチメント取付用	幅木錠掛け（CL−1245）	幅木錠掛け取付用(BN1254-01)	端部キャップ（CY−2427）	端部キャップ取付用
タッピン3種トラス Φ4 x 12 数量：5本～7本	数量：2個	バーリングビス Φ4 x 13 数量：2本		タッピン3種トラス Φ4 x 10 数量：2本

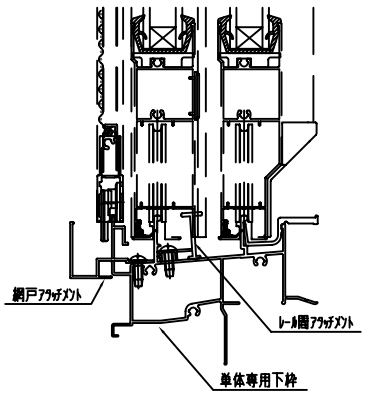
・本説明書は、バリアフリー対応アタッチメント共通取付説明書です。
各アタッチメント毎に同梱されているビスセットが違いますのでご注意下さい。

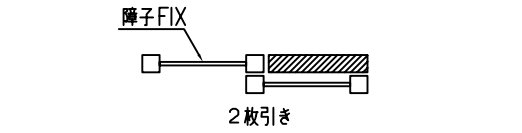
1 バリアフリー対応アタッチメントについての特徴

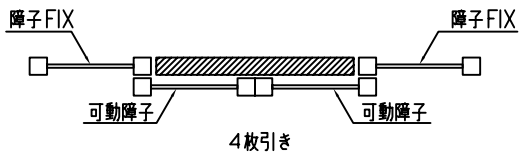
・レール間アタッチメントの取付位置によって、開閉障子を選択出来ます。（クラスK3にご使用の場合は、外障子開閉仕様の設定はありません。ご注意下さい）
・網戸アタッチメント、シャッターアタッチメントをご使用になる際、網戸は特寸にて対応して下さい。（網戸HS=規格網戸HS−21）
・シャッターアタッチメントをご使用になる際、ガイドレール内の錠受け位置を通常位置より44.5mm上部へ変更しなければなりません。（詳細は、4 シャッターアタッチメントの取り付け欄をご参照下さい。）

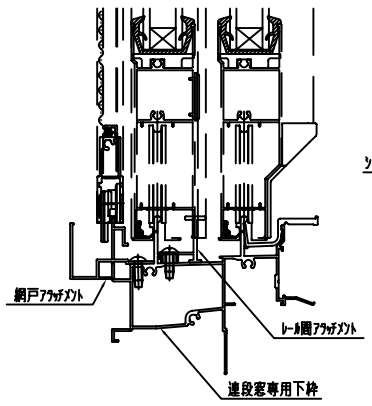
●内障子開閉仕様

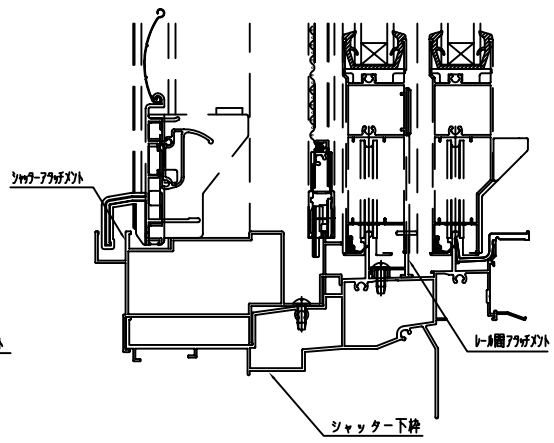
▨：レール間アタッチメント





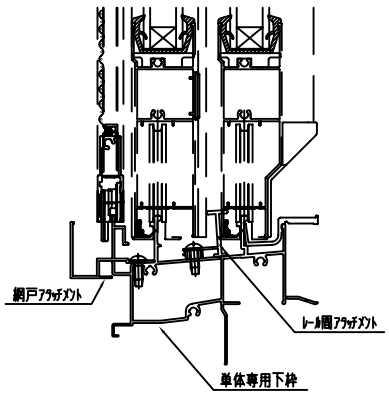


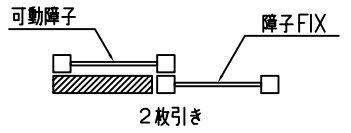


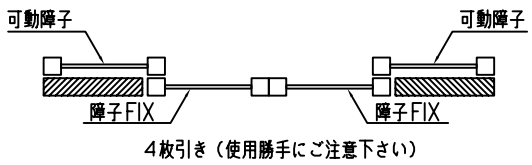


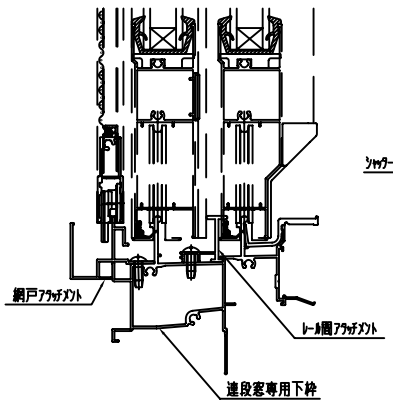
●外障子開閉仕様

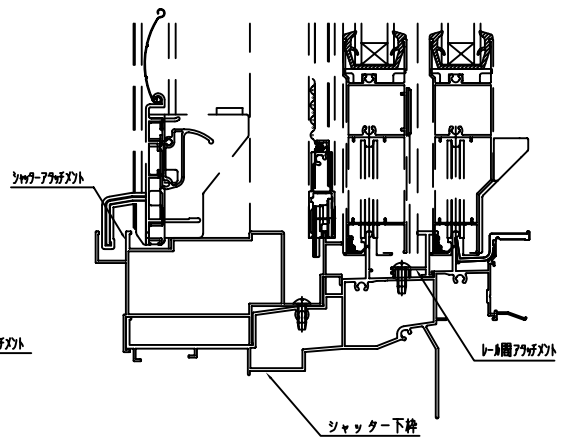
▨：レール間アタッチメント



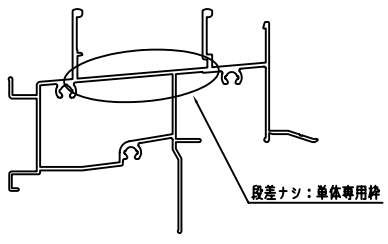


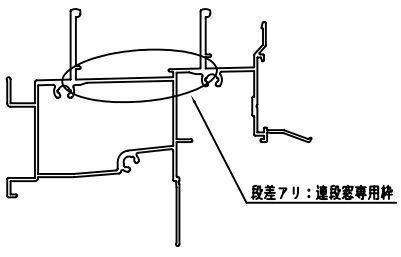






お願い　・レール間アタッチメントは『単体専用枠』と『連段窓専用枠』で位置出し方法が異なります。以下の点で枠及び、取付方法を判別してください。
※　下枠レール間に段差ナシ→『単体専用枠』　・・・・・・外障子開閉仕様時に位置決めのためセッティングブロックを使用　（2 レール間アタッチメントの取り付け参照）
※　下枠レール間に段差アリ→『連段窓専用枠』





お願い　・アタッチメントの組み合わせで取付手順に制約があります。下表をご参照になり取付作業を行うようお願いします。
アタッチメントの取付方法は、2 ～ 4 をご参照下さい。
（下記手順を間違うと、取付用ビスが打てない、障子が吊りこめない等の不具合が生じますので、ご注意下さい。）

	レール間アタッチメントのみ	網戸アタッチメントのみ	シャッターアタッチメントのみ	レール間アタッチメント ＋ 網戸アタッチメント	レール間アタッチメント ＋ シャッターアタッチメント
取付手順	障子の吊り込み ⇩ レール間アタッチメントの取付け	網戸アタッチメントの取付け ⇩ 障子の吊り込み	シャッターアタッチメントの取付け ⇩ 障子の吊り込み	網戸アタッチメントの取付け ⇩ 障子の吊り込み ⇩ レール間アタッチメントの取付け	シャッターアタッチメントの取付け ⇩ 障子の吊り込み ⇩ レール間アタッチメントの取付け

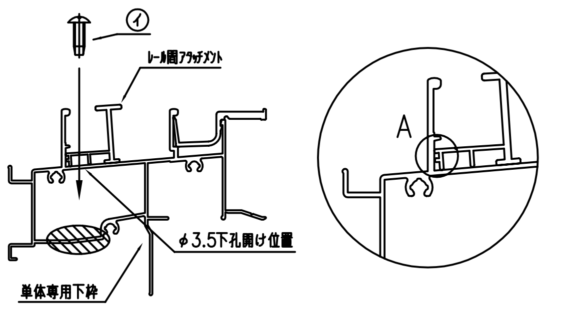
2 レール間アタッチメントの取り付け

お願い 本作業は、サッシ枠に障子が建て込まれている状態で行って下さい。

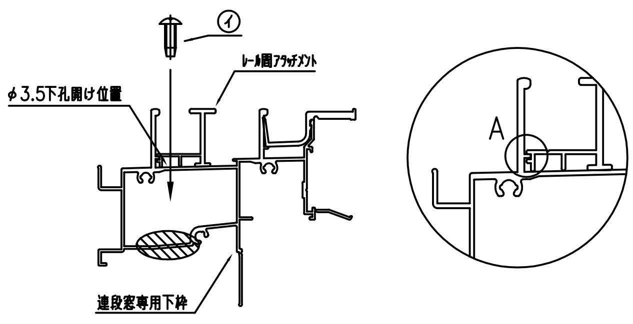
●内障子開閉仕様

- 下枠A部に沿ってレール間アタッチメントを位置決めします。
- 位置出し後、レール間アタッチメントに予め開いている孔を介し、サッシ下枠にφ3.5の下孔を開けます。
- 下孔開け後、アタッチメント取付用ビスにてレール間アタッチメントをサッシ下枠に取り付けます。

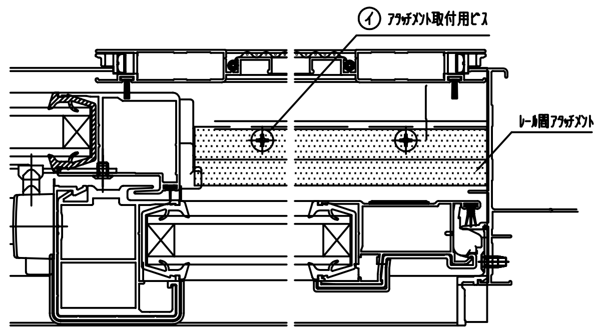
お願い 下孔を開ける際、（斜線部）部分を貫通してしまいますと漏水しますのでご注意下さい。



『単体専用下枠』



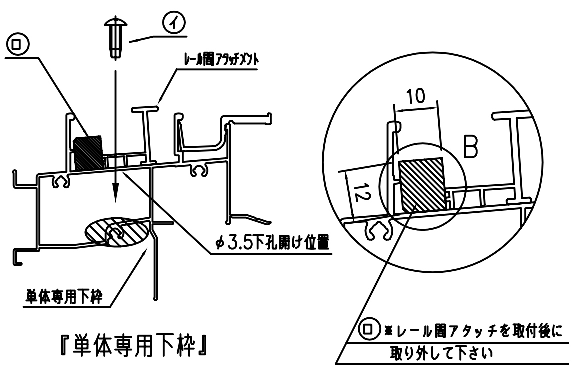
『連段窓専用下枠』



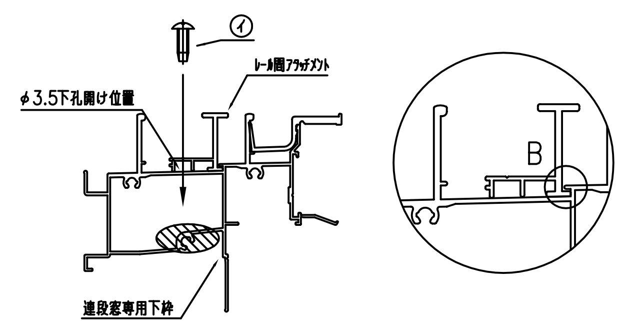
●外障子開閉仕様

- 『単体専用枠』の場合、外障子レールにセッティングブロックを当てて位置決めしてください。
- 『連段窓専用枠』の場合、下枠B部に沿ってレール間アタッチメントをはめこみます。
- 位置出し後、レール間アタッチメントに予め開いている孔を介し、サッシ下枠にφ3.5の下孔を開けます。
- 下孔開け後、アタッチメント取付用ビスにてレール間アタッチメントをサッシ下枠に取り付けます。

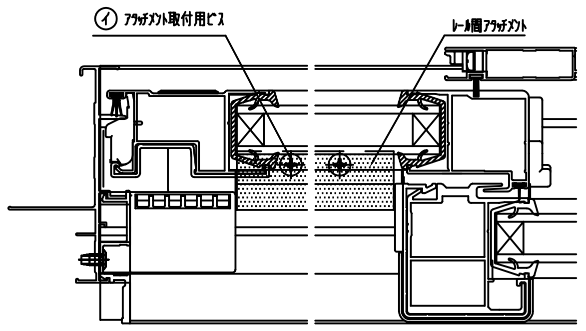
お願い 下孔を開ける際、（斜線部）部分を貫通してしまいますと漏水しますのでご注意下さい。
『単体専用枠』に取付ける際の位置出し用セッティングブロックはレール間アタッチメント取付後に取り外してください。
クラスK3にご使用の場合は、外障子開閉仕様の設定はありません。ご注意下さい。



『単体専用下枠』



『連段窓専用下枠』



お願い レール間アタッチメントは、工場出荷時においてクラスK4/アリッツPG/アリッツSG 一般テラス戸（内障子開閉仕様）用に設定されております。
その他障子（開閉仕様）をご使用の際は、現場切り詰めにて対応して頂く様お願いします。（切り詰め寸法は下表をご参照下さい）

【現場切り詰め寸法一覧】

●クラスK4/アリッツPG/アリッツSG（内障子開閉仕様）

	2P	4P
一般テラス戸	規格品	規格品
大型テラス戸	規格品−7.5mm	規格品−15mm

●クラスK3（内障子開閉仕様）

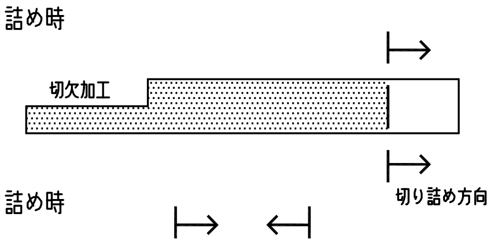
	2P	4P
一般テラス戸	規格品−3.5mm	規格品−16.5mm
大型テラス戸	規格品−11mm	規格品−31.5mm

●クラスK4/アリッツPG/アリッツSG（外障子開閉仕様）

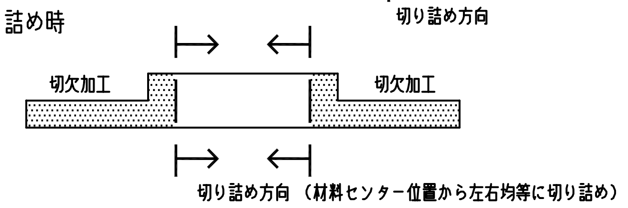
	2P	4P（2本使用）
一般テラス戸	規格品−50mm	規格品−97.5mm
大型テラス戸	規格品−57.5mm	規格品−112.5mm

お願い 外障子開閉仕様にする場合、切り詰め方向の指定があります。切り詰め方向を間違うと漏水の恐れがありますのでご注意下さい。
（内障子開閉仕様について、切り詰め方向の指定はありません） （下図参照）

2P切り詰め時

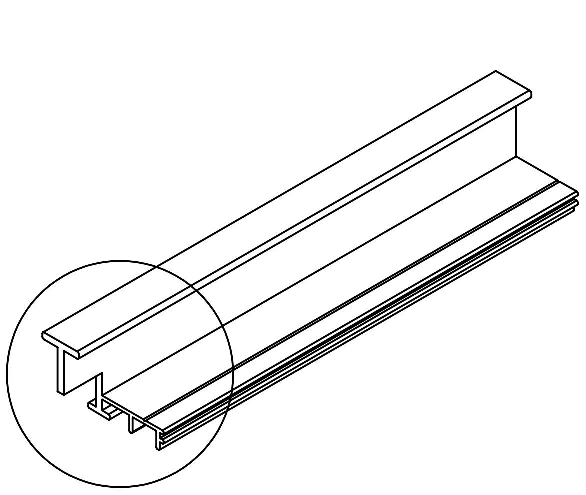


4P切り詰め時

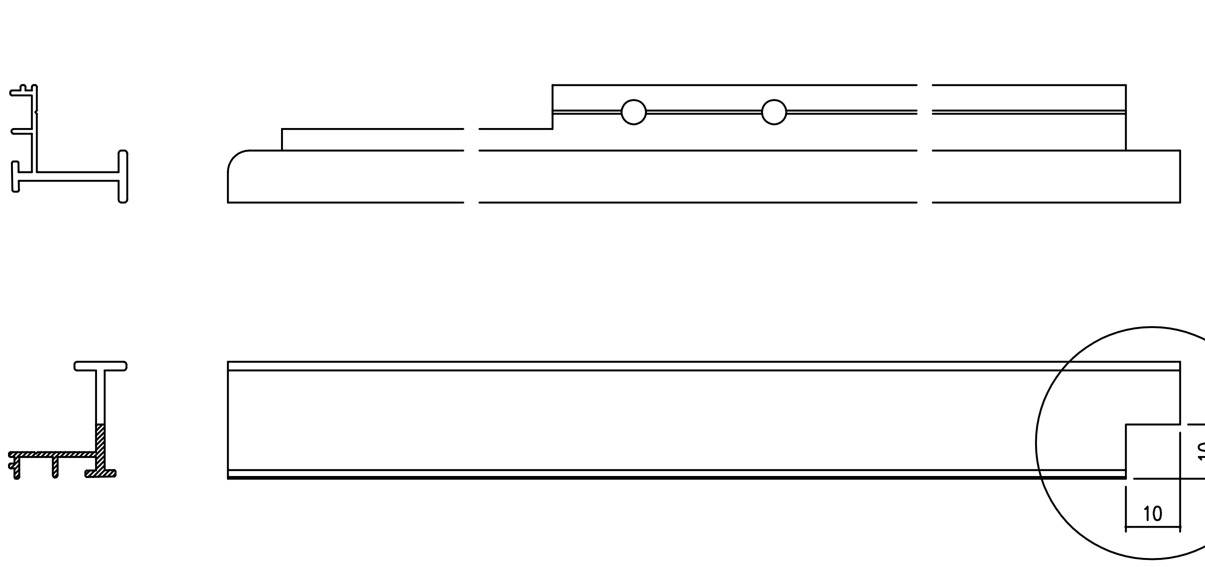


※上図切欠加工は予め施されております。 ：使用材料

お願い クラスK4/アリッツPG/アリッツSG 一般テラスタイプ（外障子開閉仕様）をご使用になる際はレール間アタッチメントの切欠（現場作業）を施さなければなりません。
切り詰め後、下図をご参照になり、切欠作業を行って下さい。

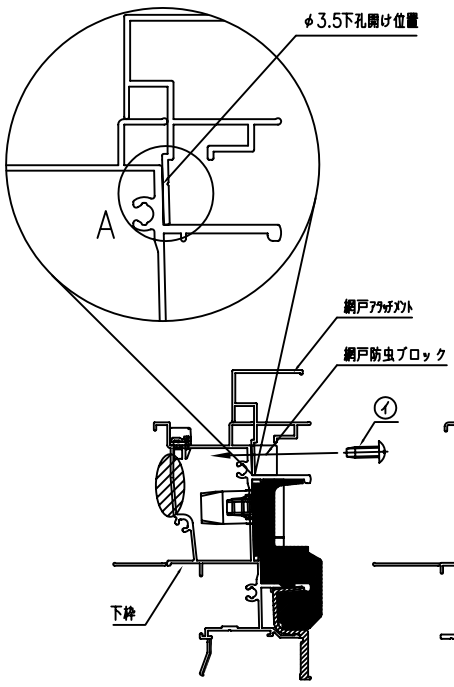


切欠きイメージ



3 網戸アタッチメントの取り付け

お願い 本作業は、障子を吊り込む前に行って下さい。



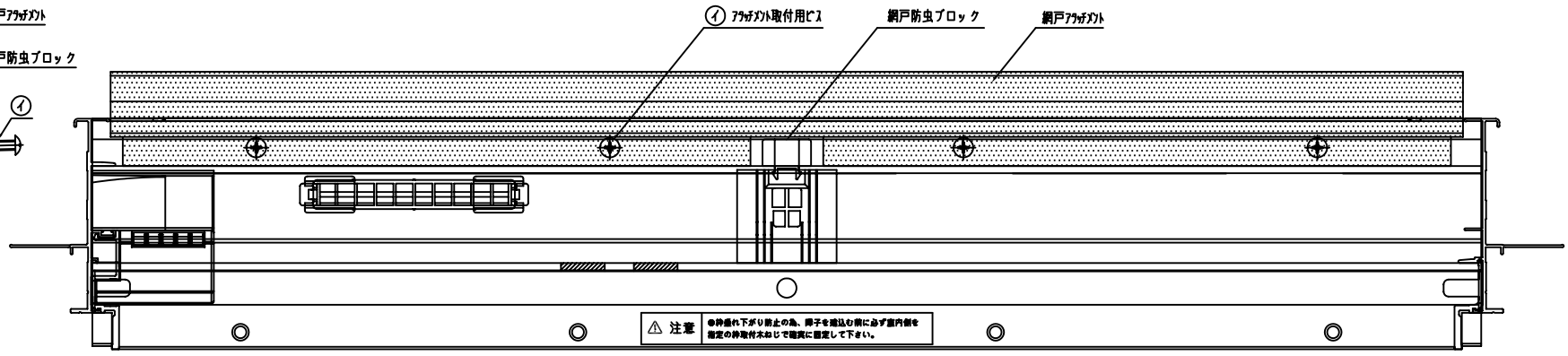
●取付後作業

・下枠A部に沿って網戸アタッチメントをはめこみます。

・位置出し後、網戸アタッチメントに予め開いている孔を介し、サッシ下枠にφ3.5の下孔を開けます。

・下孔開け後、アタッチメント取付用ビスにて網戸アタッチメントをサッシ下枠に取り付けます。

お願い 下孔を開ける際、▨ 部分を貫通してしまいますと漏水しますのでご注意下さい。



4 シャッターアタッチメントの取り付け

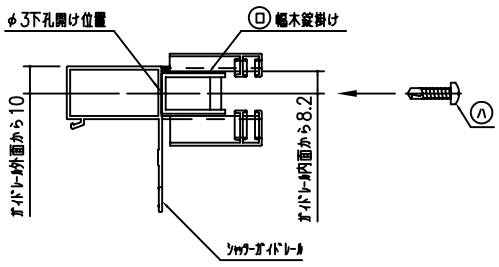
お願い 本作業は、障子を吊り込む前に行って下さい。

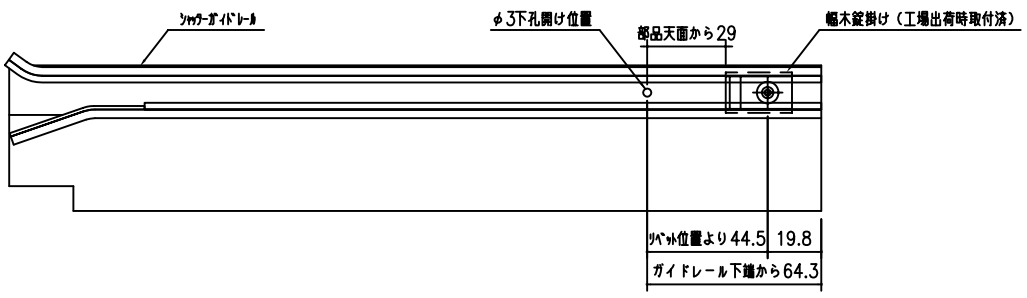
●取付前作業

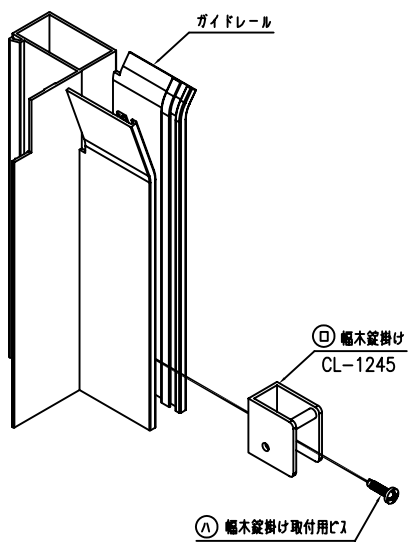
・本商品を取り付けると、シャッターを閉めた際、幅木位置が通常位置（アタッチをつけない仕様）より上部へ上がり（表面特徴図参照）幅木錠がきかなくなってしまいます。

その為、幅木錠掛け部品（ビスセット内同梱部品：CL−1245）を下記要領にてガイドレールへ取り付けて頂く様お願いします。

・シャッターガイドレールにφ3の下孔を開けます。（孔位置は下図参照）
・ビスセットに同梱されている幅木錠掛け部品（CL−1245）を取付ビスにてガイドレールに取り付けます。
（工場出荷時に予め付いている幅木錠掛け部品は、取り外さなくて結構です。）







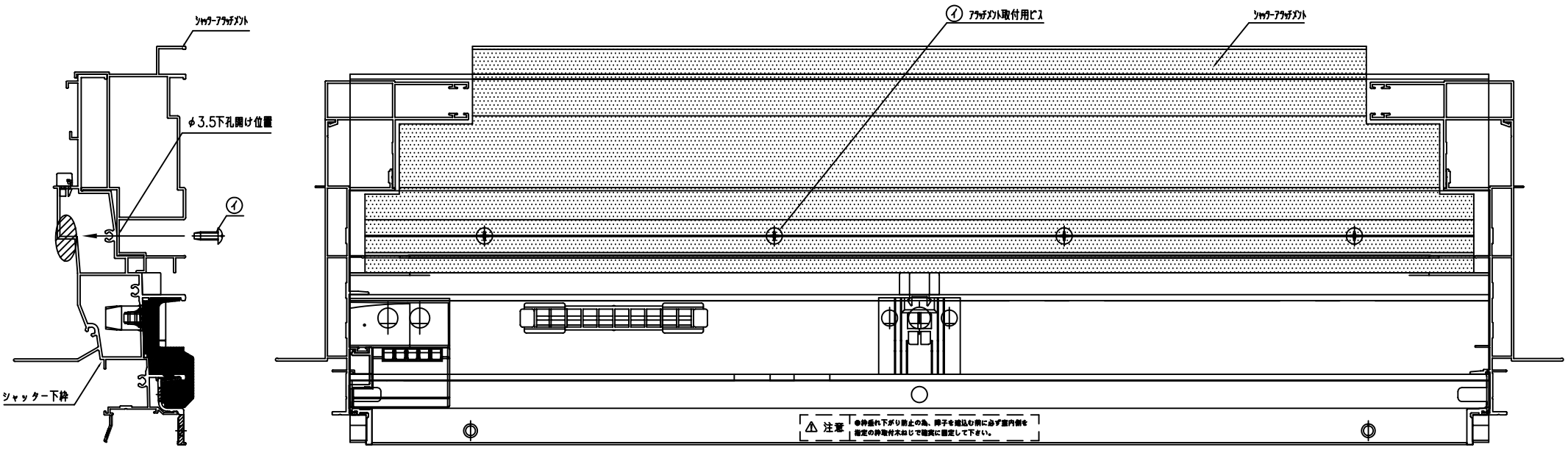
●取付後作業1

・ガイドレール形状に沿ってシャッターアタッチメントを下枠にはめこみます。

・位置出し後、シャッターアタッチに予め開いている孔を介し、サッシ下枠にφ3.5の下孔を開けます。

・下孔開け後、アタッチメント取付用ビスにてシャッターアタッチメントをサッシ下枠に取り付けます。

お願い 下孔を開ける際、▨ 部分を貫通してしまいますと漏水しますのでご注意下さい。

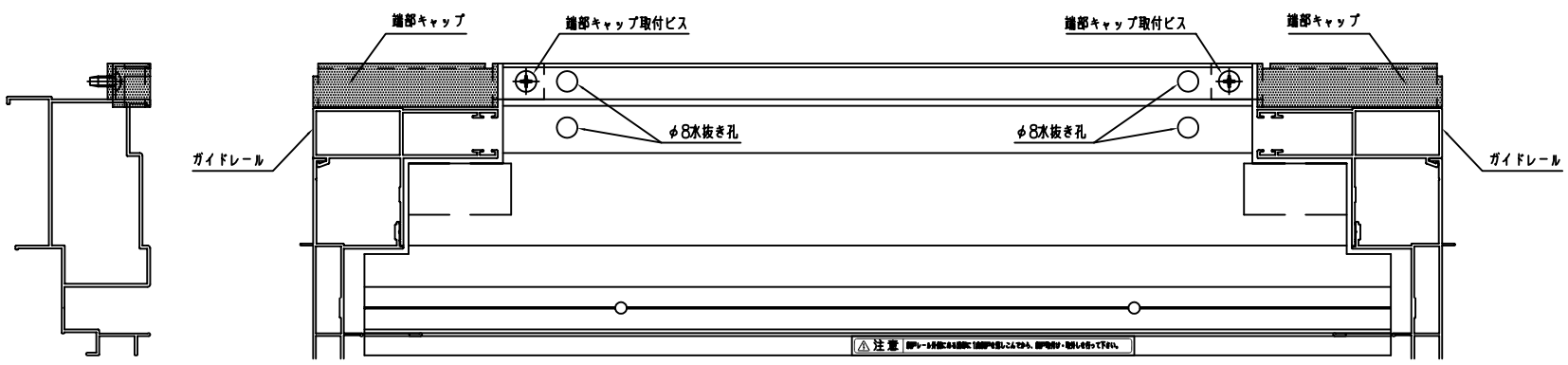


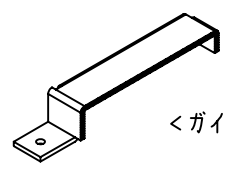
●取付後作業2

・シャッターアタッチメントを下枠に取り付けた後、端部キャップをシャッターアタッチメントに取り付けて下さい。

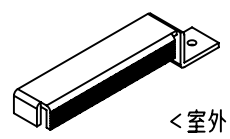
【取付時の注意】

・端部キャップにはRL勝手があります。
取付けの際には充分ご注意下さい。





<ガイドレール側>



<室外・デッキ側>